

# 2007年 5月号 Mini-WAN

～三河港湾事務所より～



Mini-WANとは  
三河港湾事務所で従来から発行している季節広報誌「m-wan(エムワン)」では扱うことが難しかった新鮮な話題を中心に情報提供を行い、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

## ■巻頭コラム

### ■最近のトピックス

- 23号豊橋東バイパス開通
- 三河港自動車港湾シンポジウム開催
- トヨタ自動車田原工場にT4バースが完成
- 「豊橋みなとまち絵地図」が最優秀賞を受賞しました!
- 「三河湾シーブルー事業」が土木学会環境賞受賞決定!
- 「みなとオアシス」認定!
- 半田運河が「運河の魅力再発見プロジェクト」に認定!!
- 結果報告・・・平成18年度CO2排出量削減への取り組み
- 「日間賀島さわやかジョギング大会」に出走
- 田原エコパーク「見晴らしデッキ」完成
- 衣浦港の自然観察と環境調査を体験

## ☆CONTENTS☆



## ☆巻頭コラム☆

### 三河港湾事務所長 塩田 昌弘



4月1日付けで田辺前所長の後任で参りました塩田と申します。よろしくお願いたします。中学3年から高校3年まで名古屋で過ごしましたが、残念ながらそれ以来中部地方に縁がありませんでした。この4月より豊橋市内に住んでおりますが、周辺の豊かな自然、アサリをはじめとする美味しい地元特産品、また、地元の方の親切で暖かい対応に家族とともにこの地域に異動してきたことを幸運に感じています。

今年度に入り、本号でも紹介のありますとおり、半田運河再活性化プロジェクトが国土交通省「運河の魅力再発見プロジェクト」に認定、豊橋みなとまち絵地図が国土交通省ポスター・パンフレットコンクール最優秀賞受賞、みなとオアシス中部地方整備局管内第1号に蒲郡市が認定、三河湾シーブルー事業が土木学会環境賞受賞、と嬉しい話が続きました。これも一重に地域の皆様方の熱意の賜と感謝しております。引き続き、地域の皆様方のお力になれるよう事務所一同努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと  
**0120-497-370**

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)  
※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局  
**三河港湾事務所**  
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049  
**衣浦港事務所**  
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312  
WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>  
E-mail [info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp](mailto:info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp)

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。



みなとオアシス

## ○「みなとオアシス」認定!

前号で紹介しました「みなとオアシス」制度につきまして、中部地方整備局で応募受付が行われ、今回、蒲郡市が認定されました。

この制度は、既存施設を活用し住民の皆さんに参加していただきながら賑わいの創出や地域振興を主たる目的としたものでありますが、逼迫する東海・東南海地震への対応が求められる中部地方においては、地元の「みなと」に対するニーズを勘案して、災害時の生活支援機能の拡充を目的に付加することとしました。

これは、他の整備局が展開してきた「みなとオアシス」の制度と、性格を異にしようとするものではなく、みなとオアシスの機能に災害時の帰宅困難者対策等のための海上ネットワークの形成を付加し、その他の活用はみなとオアシスの特性を踏まえて地域の人々が独自に考えることによって、来るべき震災への地域の対応力を高めようとするものであります。

みなとオアシス (常時)	災害時のみなとオアシス
みなとオアシス	生活支援拠点
市民参加	協働体制の強化
賑わいイベント	防災訓練
クルーズ・旅客船	帰宅困難者等の交通確保
朝市・物産展	生活物資の配給
情報の提供	安否・交通等情報の提供

## ○半田運河が「運河の魅力再発見プロジェクト」に認定!!

この度、衣浦港に位置する半田運河が「運河の魅力再発見プロジェクト」(国土交通省港湾局)の認定を受けました。運河周辺に息づく半田の文化・伝統・歴史・経済といった様々な観光資源の再発掘・再発見を行い、観光客及び市民の皆さんに「温故知多新」をより多く体験してもらうことで地域の活性化に貢献しようというものです。

今年度は半田市制70周年にあたります。みなさんも、そんな歴史ある半田のまちを運河周辺も含めて、のんびり再探索してみてもはいかがでしょうか?



半田運河沿いに設置された鯉のぼりを中心に開催された「はんだ蔵のまち端午の節句」の風景

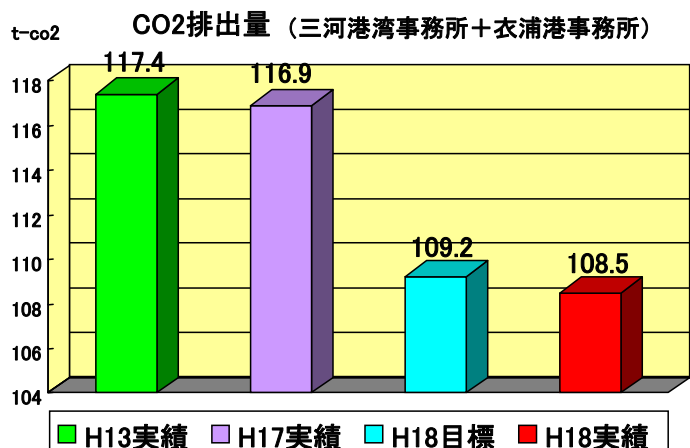
## ☆結果報告☆

### 平成18年度CO2排出量削減への取り組み

当事務所は、「中部地方整備局における地球温暖化対策推進のための基本方針」に基づき、昨年度は「CO2排出量 平成13年度比7%減!」を目標として取組みを行いました。

主な取組みとして、  
クールビズ・ウォームビズの励行  
空調機の温度設定・使用時間の厳格運用  
庁舎照明の間引き・消灯  
公共交通機関の利用向上 など

夏にはあせもができ、冬は底冷えする中、厚手のジャンパーを着て頑張りました。その結果、目標を達成することができました。今年度も引き続き、継続した取組みを行ってまいります。



7.6%削減  
目標達成!



☆最近のトピックス☆

○23号東バイパス開通

2月26日、一般国道23号豊橋東バイパス（9.2km）のうち野依IC～七根IC（2.3km）が開通しました。これにより豊橋市東部地域や静岡県西部地域と三河港とのアクセス性向上や、豊橋市内の渋滞緩和などが期待されます。



○「日間賀島さわやかジョギング大会」に出走

3月25日、「第25回日間賀島さわやかジョギング大会」が実施されました。当日は、朝から雨模様のあいにくの天気でしたが、大会が開催されるころには雨もあがり、絶好のジョギング日和となりました。2km、5km、10kmのコースを、参加者は海を横目にそれぞれのペースでジョギングをしていました。大会終了後には、日間賀島名物たこ料理にて舌鼓？  
第26回大会は、平成20年3月30日（日）の予定です。皆さんも参加してみたいかがでしょうか？



○三河湾自動車港湾シンポジウム開催

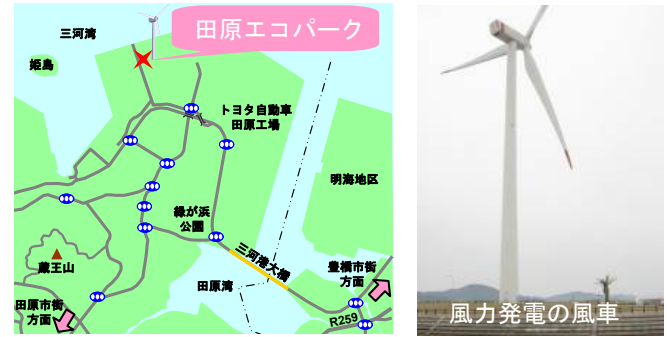
3月30日、豊橋サイエンスコアにおいて、国際自動車コンプレックス推進協議会（会長：早川勝・豊橋市長）主催により、自動車産業が集積する三河湾の課題を探り、将来の方向性について考える「三河湾自動車港湾シンポジウム」が開催されました。産官学の代表7名がパネルディスカッションを展開し、三河湾の自動車産業について「次の段階に向けて進む時期」との共通認識を確認しあいました。

☆パネリスト（敬称略）☆  
戸田敏行・東三河地域研究センター常務理事（コーディネーター）、福本昌宏・豊橋技術科学大学教授、近藤隆・明海リサイクルセンター社長、鈴木祥夫・ダイムラークライスラー日本豊橋事業所長、山口皓三・総合ポートサービス社長、鈴木巖雄・豊橋観光コンベンション協会事業推進部長、伊庭雅裕・豊橋市港湾活性課長



○田原エコパーク「見晴らしデッキ」完成

青い海、青い空に白い風車がシンボルの田原市エコパーク（緑が浜2号緑地）に見晴しデッキが完成しました。デッキはエコパークからT字型に約50m突き出しており、三河湾を一望できます。行き交う船を眺めたり、釣りを楽しむこともできます。



エコパークには、11基の風車がブ～ンブ～ンと回る姿が圧巻の風力発電や、環境に優しい汚水処理システムを採用したトイレもあり、環境学習の場としても利用できます。

芝生の広場やベンチもありますので、お弁当をもってお出かけしてみませんか。



○トヨタ自動車田原工場にT4バースが完成

4月25日、トヨタ自動車田原工場にT4バースが完成し、第四管区海上保安本部や中部地方整備局などの関係者を招き完成披露式典が行われました。

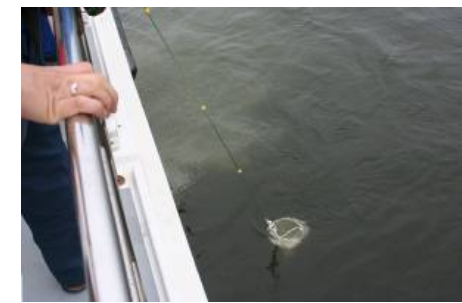
このT4バースは、13ヶ月という短い工期で完成した長さ300m、幅20mの棧橋で、増加する北米向け自動車輸送に対応するために建設されました。式典終了後、T4バースの第一船となる自動車運搬船に北米向け約5000台の自動車積み込み作業が開始されました。



○衣浦港の自然観察と環境調査を体験

5月4～5日、半田市観光協会主催による衣浦港洋上見学・環境調査が行われ、当事務所監督測量船「しおさい」と「富士丸」が、こどもエコクラブ等の活動を行っている親子44名を乗せ衣浦港と半田運河を航走しました。半田運河と高潮防波堤付近で、透明度調査と生物観察（海水採取）を体験しました。

参加者からは「海から見る衣浦港に感動した」、「小さな生き物のためにも海をきれいにしなければならない」という声が聞かれました。



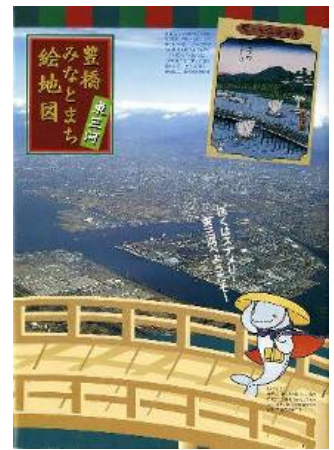
環境調査（海水採取）の様子

○「豊橋みなとまち絵地図」が最優秀賞を受賞しました！

当事務所が監修したパンフレット「豊橋みなとまち絵地図」が「国土交通省ポスター・パンフレットコンクール」の広報パンフレット部門において最優秀賞を受賞しました。

「豊橋みなとまち絵地図」は東三河の港にまつわる文化や歴史について、イラストを用いて分かりやすく紹介したパンフレットです。

また、パンフレットの裏面は東三河一帯の歴史的な名所が豊富な解説とともに掲載された絵地図となっており、この地域が歩んできた過去から現在までの足跡を辿れる観光マップとなっています。



←パンフレット「豊橋みなとまち絵地図」  
監修＝三河港湾事務所  
発行＝豊橋商工会議所  
編集＝ユーコミュニケーションズ  
発行日＝2006年3月



表彰式の様子  
↑中部地方整備局（三の丸庁舎）にて  
右手奥＝中部地方整備局 金井局長  
左手前＝三河港湾事務所 塩田所長

○「三河湾シーブルー事業」が土木学会環境賞受賞決定！

この賞は、環境への負荷を低減する土木技術・システムを開発・運用し、良好な環境の保全・創造に貢献した画期的な業績およびプロジェクトが対象です。「三河湾シーブルー事業」は、開発と環境改善・水産振興といった別々の事業が相互理解のもと連携し、これまで例のない大規模な干潟・浅場造成を、短期間で行った画期的な業績が認められました。



西浦干潟